

学校紹介 益城中央小学校

「中央小の宝物」

益城中央小学校では、
①体力づくり
②長所をのぼす
③年齢に応じたあいさつ
を重点目標に取り組んでいます。

益城中央小学校は、昭和41（1966）年に木山小と福田小が合併した学校です。創立45周年になります。校舎の老朽化と耐震基準不足のため、昨年3月、木山中の北側に移転改築しました。

現在、14クラス456人の児童数です。教室棟は木造平屋づくりで、廊下の床などが杉材使用のため、梅雨時や冬季の結露がありません。

今年度、地元老人クラブや他郡市からの視察見学がありました。地域の皆様の訪問を歓迎



▲空から見た益城中央小学校



迎えます。

中央小の宝物① 「古代の土器」

益城中央小の1階ホールには、弥生時代および古墳時代に使用されていた土器が展示されています。校舎建設の試掘調査で発掘されたものです。

本校敷地には、大昔からこの



発掘された遺跡



学校に展示されている土器

地で生活を営んできた人々の遺跡が発見されました。

中央小の宝物② 「壁画」



川崎のぼる氏デザインの壁画

1階ホールには、大きな石材彫刻壁画があります。漫画「巨人の星」の作者で有名な菊陽町在住の川崎のぼる氏がデザインしたものです。竜に乗って大空へ舞い上がる子どもたちが成長していく様子を

描いてあります。

この壁画は、益城中央小のシンボルであり、地域の方々との交流の場になつていくことでしょう。

特色ある取り組み① 「縦割りあそび」

全校児童が約10人前後の班をつくり、上級生が遊びを考え、下級生との交流を行う児童会主催の活動です。児童にとってはお互いを知るよい機会となっています。

特色ある取り組み② 「地域ボランティア」

本校は、学校支援地域本部事業の指定を受けて取り組んでいます。地域の方々の知恵や経験を児童に役立ててもらおう取り組みです。2月24日に報告会を開催します。ご参加をお待ちしています。

笑顔が絶えない縦割りあそび▶



◀地域ボランティアとの交流の様子